

あきる野市教育委員会 7 月定例会会議録

- 1 開催日 令和元年 7 月 24 日（水）
- 2 開催時刻 午後 2 時 00 分
- 3 終了時刻 午後 5 時 35 分
- 4 場所 あきる野市役所 5 階 503 会議室
- 5 日程
- 日程第 1 議案第 10 号 令和 2 年度使用教科用図書（小学校）の採択について
- 日程第 2 議案第 11 号 令和 2 年度使用教科用図書（中学校）の採択について
- 日程第 3 議案第 12 号 あきる野市学校給食センター運営協議会委員の委嘱について
- 日程第 4 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員
- |          |         |
|----------|---------|
| 教 育 長    | 私 市 豊   |
| 教育長職務代理者 | 田野倉 美 保 |
| 委 員      | 丹 治 充   |
| 委 員      | 小 西 フミ子 |
| 委 員      | 坂 谷 充 孝 |
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者
- |             |         |
|-------------|---------|
| 教 育 部 長     | 佐 藤 幸 広 |
| 指 導 担 当 部 長 | 鈴 木 裕 行 |
| 生涯学習担当部長    | 松 島 満   |
| 教育総務課長      | 鈴 木 将 裕 |
| 教育施設担当課長    | 岩 崎 徹   |
| 学校給食課長      | 山 本 匡 俊 |
| 指 導 担 当 課 長 | 間 嶋 健   |
| 生涯学習推進課長    | 吉 岡 賢   |
| 図 書 館 長     | 紺 藤 修 子 |

指 導 主 事  
指 導 主 事

大 道 雅 士  
宇佐美 拓 郎

9 事務局欠席者

スポーツ推進課長

長谷川 美 樹

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（私市 豊君）

皆様、こんにちは。東京 2020 オリンピック・パラリンピックまで、ちょうど 1 年となりました。来年の今ごろ、今日の日をどのように迎えるのか、非常に楽しみです。本日の議案であります教科書採択の中にも、オリンピック・パラリンピックを取り入れた教科書もございます。採択に向けて、しっかりと協議を行ってまいりたいと思います。

傍聴席の皆様には、教育行政に関心を持っていただきまして、本当にありがとうございます。心より敬意を表したいと思います。

それでは、ただいまから、あきる野市教育委員会 7 月の定例会を開催いたします。

本日は、教育委員全員が出席しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

本日、傍聴の希望がありますので、許可したいと思います。

なお、本会議については傍聴の申し込みが多数見込まれたため、あきる野市教育委員会傍聴規則第 2 条の規定により、傍聴人定数 10 人になっておりますが、本日は 100 人といたしました。

なお、事務局はスポーツ推進課長が欠席しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めます。

まず、議事録署名委員の指名については、丹治委員と小西委員を指名します。

それでは、議事に入ります。

日程第 1 議案第 10 号令和 2 年度使用教科用図書（小学校）の採択についてを上程します。

提出者は説明をお願いいたします。

指導担当部長。

指導担当部長（鈴木裕行君）

議案第 10 号令和 2 年度使用教科用図書（小学校）の採択についてを説明いたします。

教科用図書の採択につきましては、教育委員会の処理する事務の一つとして示している地方教育行政の組織及び運営に関する法律や義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づいて、あきる野市公立学校教科用図書選定要綱を定めて採択事務を進めてまいりました。

教科用図書の採択に向けて、適正かつ公正、公平な採択に必要とする専門的な教科書に関する調査研究を行いました。専門性の高い教員で組織する各教科専門部会と教育管理職で組織する教科用図書調査委員会、そして市民や行政、学校の代表者で構成する教科用図書選定資料審議会を設置し、それぞれの立場から教科用図書の調査研究と選定にかかわる資料を作成しました。

小学校におきましても、各学校に教科用図書の見本を回覧し、各学校における調査研究を行い、報告をまとめました。また、委員の皆様にも教科用図書の閲覧や研究ができるよう、教科用図書の見本をお届けいたしました。さらに、本市に設置した教科書展示会場におきましては、5 月 31 日から 7 月 3 日までの期間に 10 日間の特別展示会と 14 日間の

法定展示会を開催しました。展示会を通じて、市民の皆様を含めた一般の方々のご意見を広くいただきました。教科書展示会の開催期間中には、延べ140の方が教科用図書を閲覧されました。

教科用図書の採択に当たって用意いたしました資料は、こうした調査研究を踏まえて選定資料審議会が取りまとめた資料であります。本日は、令和2年度から令和5年度における小学校の各教科等の授業で使用する教科用図書の採択についてご審議をお願いいたします。

配付資料につきましては、引き続き指導担当課長から説明いたします。

教育長（私市 豊君）

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健君）

それでは、令和2年度使用小学校教科用図書選定資料審議会資料につきましてご説明いたします。

この資料は、あきる野市公立学校において使用する教科用図書の適正な採択を行うために必要な事項を定めたあきる野市公立学校教科用図書選定要綱に基づいて設置したあきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会によって作成されました。この資料は、委員の皆様にも最終的に採択をしていただくに当たり、参考として作成しているものでございます。この資料でございますが、教科専門部会、教科用図書調査委員会、あきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会を経て作成されました。本来ならば、資料作成のための組織が構成される順に説明するべきところですが、委員の皆様が採択に当たってご覧になる選定資料について、つくられた経緯に沿って説明いたします。

選定資料は、教科用図書調査委員会の下部組織である校長、副校長1名、教員3人で構成される教科専門部会によって教科用図書を検討し、それぞれの特徴についてまとめた資料を作成いたしました。この教科専門部会を組織している教員3人は、各教科に対して専門性が高い人物でございます。同時に、各小学校においても調査研究を行い、報告書の提出を求めました。小学校の管理職によって構成される教科用図書調査委員会では、教科専門部会がつくった資料と各学校から提出された学校意見を踏まえながら、さらにまとめております。教科用図書調査委員会がまとめた資料は、あきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会に提出され、こちらは校長、市民代表としてPTA連合会会長、副会長、行政として教育部長、指導担当部長、計6人で組織されており、調査資料等をさらに審議し、適正なものであるかどうかを判断いたしました。

今年度の第1回あきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会は、6月10日に開催いたしました。この会において、あきる野市立南秋留小学校、中島靖二校長を審議会委員長に選任し、公正な教科用図書採択事務手続の説明をするとともに、審議委員の方々に進めていただく調査研究の内容及び日程等を確認いたしました。その後、7月9日、第2回選定資料審議会を開催し、実際の各教科用図書を照らし合わせながら、内容の選択、配列・分量、表記・表現、使用上の便宜の4つの項目の所見について、客観性の有無等について協議検討し、本資料を作成いたしましたところでございます。審議会においては、基本的にはどの教科書も適正であり、それぞれ良さがある。図や写真、資料などが大きく掲載さ

れていたり、鮮明であったりする教科書が児童の興味、関心を引き出す。余白や行間、フォント、紙の質などもポイントとなる。あきる野市の地域性や子どもの実態を踏まえた教材が掲載されていることが重要である。教科書が全体的に重くなっている。また、机の大きさも限られている。サイズの配慮も必要である。小中一貫教育の視点も意識する必要があるという提言が出されました。本審議会資料は、それらを踏まえて調査分析されており、適切であると判断されております。

続いて、選定資料審議会による審議結果について、教科ごと3.0評価が多かった教科用図書を中心に、その理由の一例をご説明申し上げます。国語の審議結果につきまして報告いたします。国語の教科用図書は、全4社から発行されており、現在本市で使用している教科用図書は光村図書でございます。審議会においては、4社とも評価はほぼ変わらず高い評価でしたが、光村図書のみが児童の興味、関心を高めるための優れた教材が多いという判断がされております。説明文や文学作品、資料等が充実されていることが評価が高くなった理由でございます。

東京書籍は、単元構成がわかりやすくまとめられたページがあることなどが評価されております。教育出版は、教科書の巻末の振り返りができるまとめが評価されております。学校図書につきましても、言語の指導が系統的であるといったことが評価されております。なお、この教科書展示が行われました5月31日から7月3日まで行いましたときに、市民アンケートにつきましても皆様にご配付しているところでございます。審議に当たっての参考としていただきたく、よろしく願いいたします。

教育長（私市 豊君）

国語の教科書の説明がありました。

これより委員の皆様から意見を求めます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

この度の教科書の採択につきましては、あきる野市の児童が直接使用し学習することから、先ほど課長から説明がありましたように、教科用図書選定資料審議会の資料を参考にしながら教育委員としての責任と、そして権限において最も適した教科書を採択するために調査研究をさせていただきました。その視点といたしましては、新学習指導要領の実施に伴い、児童が主体的で深い学びを通して、あきる野市公立小学校が創意工夫を図り、特色ある教育活動が実現しやすい教科書という観点から、各教科の教科書を拝見しました。特に本市の課題となっております基礎的、基本的な学力の確立、定着を図り、思考判断、表現力等を育み、そして他者と共存して課題を解決できるような教育ができるかどうか、また豊かな心や創造性の涵養ができること、さらに健康で安全な生活と豊かな体験活動の実現を目指す教育ができること、こういう観点から教科書を拝見したわけですが、ただいま説明がありましたこの4社の国語の教科書を拝見する中で結論から申し上げますと、光村図書を第1に考えました。

それは、ポイントや視点を明らかにして扱っていること、作品も大変良いものが挙げられております。また、単元ごとに見通しを持つようなページや学習のポイントが明記され、学習したことが実生活に活かされるような工夫がされておりました。主体的な学習活動を促す

観点からは、初めに学習の進め方が示されておりました。また、国際、情報化や環境問題等への対応では、メディアと人間社会というデジタル機器のプレゼンが扱われております。さらに、固有種が教えてくれることを取り上げるなど、資料の新しきや正確性が見られました。2017年のマスコミの記事が5年生の教材にもなっておりますけれども、生活や学習の実態と裏打ちし、結論でその問題を取り上げておりました。資料等を見ると、巻末には漢字表や熟語が掲載され、単元の終わりには熟語が示されており、また漢字練習のページを用いて学習ができるようになっております。

さらに、現代の課題である食品ロスの問題を取り上げておりました。全体的に指導項目がバランスよく配置され、使用に当たっては5、6年生が上下ではなく1冊にまとめられており、説明文の中に短い練習用の例文がありました。表紙絵等も学年を感じさせるような楽しい写真や挿絵がバランスよく挿入されており、興味を引き出し、子どもたちの学習意欲の向上も進められていくと、そのような理由から今般光村図書を推薦したいと思いません。そのほか挙がっております3社の教科書等についても、大変よくできておりますけれども、私からは光村を推薦させていただきました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さんからのご意見いかがでしょうか。

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

今、丹治委員が言われたように、4社の教科書、どの教科書も話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと的能力がバランスよく、適切に育まれるように、非常によく考えられていると思いました。また、ユニバーサルデザインを意識したカラーや書体を使い、見やすく、読みやすく感じました。選定審議会の資料からは、若干光村図書の評価が高いと思いますが、どの教科書も非常に良いように思います。その中で、光村図書は紙面の下地が真っ白ではなく昼光色のような、ちょっと黄色がかったほのかな色味があり、温かさを感じると同時に、字が大きくて見やすい表記になっています。また、使用している写真や挿絵が美しく、児童の興味が高まるのではないかと感じました。

教科書で扱っている物語も、いわゆる今まで読み継がれてきた名作がきちんと網羅されており、充実しています。巻頭の「国語の学びを見渡そう」では、学習の進め方を説明し、次にその学年で学習する内容を明確に表しているため、児童が見通しを持って学習できるようになっていると感じます。巻末の付録「学習を広げよう」は非常に充実しており、また「本の世界を広げよう」というコーナーでは、それぞれの発達段階に適した本の紹介がなされ、「言葉の宝箱」というコーナーでは、語彙を豊かにするための工夫があります。春、夏、秋、冬の季節の言葉を盛り込み、四季の変化に密接に結びついた日本の文化や伝統に触れているのも非常に高く評価したいところです。

懸念材料としては、全体的に読み物の分量がやや多く感じ、内容的にも難しい文章があるので、本市の児童の実態に合っているのかということところです。また、最近ランドセルが重いという話がありますが、5、6年生が分冊ではなく1冊になっていて、また国語とい

う教科はかなり頻度が多く授業があるので、その持ち運びが重くなるのではないかということも懸念材料の一つです。

もう一つ、東京書籍ですが、教科書の作りが非常にしっかりとしています。その分、紙の厚みがあり、ちょっと重さを感じました。また、東京書籍も5、6年生は分冊ではなく1冊なので、やはり持ち運びの面ではちょっと重いかもしれないと思います。内容的には題材に身近なものを取り上げているため、児童の興味関心が高まるのではないかと考えます。また、季節に合わせた単元配列になっており、児童の季節感が養われているのではないかと感じました。写真や挿絵はシンプルで読みやすく、学習のポイントとなる事柄を整理して示した「言葉の力」というのを設定しているのも良いと思います。

私としては光村図書と東京書籍の2つが非常にいいかと、甲乙つけがたく思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さん、いかがでしょう。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、田野倉先生と同じ東京書籍と光村図書でかなり迷いました。東京書籍は、すっきりして余白があるので、とても読みやすいこと、新しく習う漢字で、人や入る、貝、見るなどの間違いやすい字、右、石、玉、王、木、本などの違いをととても強調されているところが覚えやすいかなと思いました。それから、障がい者にも触れて、点字の五十音もありました。

光村図書の場合も、とても字が大きくて、他のものが目にちらつかず、ユニバーサルデザインをととても意識した紙面で集中しやすかったです。絵も色も癒やされる暖色系で、あと漢字博士の暗号解読もありましたけれども、点字については紙面を本当に凹凸をつけたものになっていることや、指文字が出るようなものが良かったです。指文字を一般の子が知ると、日常生活においても助かることがありますので、とても良かったなと思いました。それから、絵や写真が多く、わかりやすいことで、色々迷いましたが、私も最終的には光村図書を選ばせていただきました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

今回教科書選定、国語におきまして4つの社について検討させていただきました。特に就学前教育から1年生へ就学するというところにおいて、少々注意を持って見させていただきました。主体的な学び、学力向上というのが本市の課題であるわけですが、そこに向かうに当たって、子どもたちが自ら学習に向かおうという姿勢、それをモチベートするものであっていただきたいなと考えました。

そういった中で、光村図書を私は推させていただきますと思います。子どもたちは色々

な状況で就学をするわけです。平仮名というものに抵抗なく入れる方もいれば、そうではない方もいるというところで、一つ一つを丁寧に、文字の大きさや挿絵を交えながらというところも大切です。また、見やすい配置をしているところ、子どもたちの身になって教科書を作られているなど感じたところが光村図書を推薦する理由です。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

4人の委員さんから、それぞれ意見をお伺いいたしました。

最後に、私からですけれども、私も4社の本を見させていただきました。まず、東京書籍につきまして先ほど他の委員さんからもありましたけれども、春夏秋冬、四季に合わせた単元配列、工夫があります。こういった点は非常に子どもたちにとって、学習をする上で取り組みやすいのではないかなと高く評価をしているところでございます。また、写真や挿絵、そういったものにも工夫が見られます。そして、資料が新しいことから世の中の動きなど、そういったものが把握、伝わりやすいという点を私は東京書籍を評価しております。

では、今皆さんの推薦になります光村図書ですけれども、私も光村図書を評価しております。これは内容よりも全体的な捉え方で、非常に全体的に温かい印象を受ける教科書だと思えます。小学校1、2年生が初めて学校に行って、本格的に学ぶときに、こういった教科書、ましてや国語でございますから、全ての教科に通ずるものがあります。手にとって優しい印象を与えるということは非常に大事なことだと思っております。内容につきましても、読み物が多くて、児童の興味、関心を引く、そういった点を評価しております。

したがって、私も光村図書、東京書籍、迷うところがありましたけれども、あえてどちらかといえば光村図書を推薦したいと思えます。

以上が私の意見ですけれども、他に何か特にこういう点をというご意見がありましたら、お伺いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、今までお伺いいたしました委員の皆様の意見を集約いたしますと、この国語の教科書につきましては光村図書を採択したいと思えますが、よろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、異議なしと認めまして、令和2年度の使用教科、国語につきましては光村図書を採択いたします。

続きまして、説明を指導担当課長、お願いいたします。

指導担当課長（間嶋 健）

続きまして、書写の審議結果について報告いたします。

書写の教科用図書は、5社から発行されており、現在本市で使用している使用教科用図書は光村図書でございます。審議会においては、全ての教科書の評価が高かったと言えま

す。

その中で東京書籍でございますが、筆の扱い方がわかりやすく記されている点が高く評価されているところがございます。光村図書は、児童に書写の学習がわかりやすくまとめられていること、教育出版は吹き出しや挿絵を使って、とめ、はね、はらいを説明しているところ、日本文教出版は日常生活に活用できる表題例があることなどが高く評価されております。また、学校図書の巻頭資料も見やすいとの評価がありました。

以上となります。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

書写の説明が終わりました。

委員の皆様からご意見をお伺いをいたします。いかがでしょうか。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

よろしいですか。

教育長（私市 豊君）

はい、お願いします。

委員（丹治 充君）

書写につきましても、それぞれ5社の特徴がありますけれども、今回書写の狙いが明確に示され、手本の文字が提示される構成となっており、書写の学習がわかりやすく工夫されていて、基本的な姿勢や筆の持ち方、毛筆の毛先、筆圧を意識させるなどの工夫が見られる、光村図書を次年度も使われたらどうだろうかと思います。また、児童の興味関心を引き出すための挿絵やキャラクターの活用を図って、楽しく学習できるように工夫が見られました。教科書のサイズについては、他の教科書と同等のサイズで、使用しやすいのではないかということから、光村図書を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかに委員さんのご意見をお伺いいたします。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

書写につきましてですが、光村図書と東京書籍について少々迷っているところがございます。特に、光村図書につきましては今丹治委員もおっしゃられましたように、興味、関心を引き出すというキャラクター活用や、良い部分がたくさんあるわけですが、同時に東京書籍がやや大きいものとなっているのですが、これがまた逆に大きくて持ち運びが大変な部分もあるかもしれないですけれども、そのおかげで余白があったり大変見やすいなど、先ほど申しあげましたように、低学年でというところで考えますと、特に書写をするに当たってはそういう見やすく、広くとってあるものの方が良いのではないかな、また書写の鍵というところですか、またまとめで確認をするといったところが大変しやすいのではないかというところで、どちらかというところ東京書籍が私はいいなと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

小西委員。

委員（小西フミ子君）

それぞれですけれども、一応入学してから国語で字を習いますが、やはり書写も国語と同じように、字を覚えていくと思うので、光村図書でもしやれるとしたならば、同じ方がよいのではないかと思いました。なので、私は内容もそうですけれども、姿勢や鉛筆の持ち方、そういうことについても結構詳しく明記されていたので、光村図書を推したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

先ほど坂谷委員が、教科書が大きいことに関して余白があり見やすいというお話だったのですが、私は逆に学校の机はそれほど大きくないので、広げたときに字を書く作業をするには、ちょっと邪魔といいますか、作業領域が確保しづらいのではないかと考えました。どの教科書も非常にわかりやすく、丁寧な作りだと思いますが、その中で私も光村図書を推したいと思います。お手本の字が非常に大きくて、きれいで美しい、またとめやはらいなども、濃淡をつけてわかりやすい工夫がされていると感じました。先ほど小西委員もおっしゃっていましたが、書くときの姿勢や筆の持ち方など、基本的な事項がわかりやすく示されていると思います。また、書写の関心を高める「もっと知りたい」を設定し、児童が主体的、能動的な学習ができるように配慮されているのも非常に良かったと思います。以上のことから、私は光村図書がふさわしいのではないかと考えます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

それでは、私の意見を申し述べます。書写という科目は、最終的には筆をどのように使うかという科目でございしますが、その前段で字というものをどのように書く、ここが大事かなと思いました。とめやはらいという技術的なことよりも、ここのところをしっかりとわかりやすく学ぶ書写の教科書どれかなと見たときに、やはり光村図書が姿勢や鉛筆の持ち方、そういったところを非常に丁寧に、わかりやすく表現してありました。比較するとよくわかりますけれども、子どもたちにとって初めて字というものを本気で書くときに、こういったわかりやすい説明、表示があることは非常に良いことではないかなというところでございます。そういう点で、私も光村図書を書写の教科書に推薦したいと思います。

坂谷委員さんが東京書籍、4人の委員が光村図書ということですが、その辺はよろしいでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

光村図書についても、冒頭申し上げましたように、良いと感じた部分でもございませ

て、皆様のご意見と合っていますので、問題ございません。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

それでは、書写につきましては光村図書でよろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度書写の使用教科書につきましては、光村図書を採択いたします。  
続きまして、社会科について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

社会の審議結果について報告いたします。

社会科の教科用図書、全3社から発行されておりまして、現在本市で使用している教科用図書は教育出版でございます。審議会では、全ての教科書が高い評価を得ております。

東京書籍でございますが、高学年の分冊があるということが高い評価を受けた観点となつております。また、単元の結びで児童に考えさせる構成になっており、児童の主体的な学びを促すよう工夫されているところが評価されました。教育出版でございますが、身近な事例を取り上げることで、学習意欲を高めるよう工夫されているところが評価されております。日本文教出版でございますが、本文を児童の言葉の形で記載することで、全体的に児童が学習内容がわかりやすく、取り組みやすくできるよう工夫している点などが評価されております。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

事務局の説明が終わりました。

各委員の意見を伺います。

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

社会の授業であきる野市に住んでいる児童に勉強してもらいたいこととして、五日市憲法草案が挙げられます。そこで各教科書で五日市憲法草案がどのように扱われているかに着目しました。東京書籍と日本文教出版は五日市中学校にある記念碑の写真が掲載されています。教育出版は写真こそありませんが、五日市憲法草案がどういったものかということについて、内容にまで踏み込んで取り上げています。また「やってみよう」というコーナーでは、「大日本国憲法を五日市憲法や今の日本国憲法と比べて、どのような特徴があるか考えてみよう」とあり、あきる野市民として五日市憲法草案がこの地で生まれたことを誇りに感じるような内容になっているので、非常に嬉しく思いました。

続いて、そのまま教育出版についてですが、巻頭に「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」を繰り返していく社会科の学習の進め方が書かれているため、児童がどのように学習を進めていけばよいか明確になっています。原則として1時間の授業の間に見開き2ページという形で構成されているため、授業の中でどんなふうに学習が進められているかがよくわかります。また、「この時間の問い」にめあても明確に記されているため、児童

にとっても指導者にとってもわかりやすく、学習の見通しをたてやすいのではないかと思います。最近どの学校でも指導経験が少ない若手の先生が増えていると感じます。なので、ある程度学習の流れが教科書に載っていて、見通しが持てるようなものの方が授業準備などもしやすいのではないかと考えます。また、掲載されている写真やイラストの色彩も美しく、文字も読みやすいように、よく配慮されていると感じました。懸念材料としては、1学年1冊になっているため、5、6年生になるとかなり教科書が分厚くなってしまって重い、また私の感じ方なのかもしれませんが、ほかの教科書に比べてちょっと紙の質が薄く感じたので、耐久性の面ではどうなのかなと思いました。

一方、東京書籍は、5年生は上下巻、6年生は政治、国際編と歴史編という3分割になっているのが特徴になっています。なので、持ち運びや扱いやすさの面ではいいのかなと思います。大きい写真やわかりやすい資料が多く、情報量も豊富だと感じます。見開き単位で番号が資料や写真についているため、「この資料を見なさい」というときに指導しやすいのではないかと感じました。

結論としては選定審議会の中では東京書籍の評価がちょっと高いように感じますが、個人的には教育出版を推したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さんのご意見をお伺いをいたします。

委員（丹治 充君）

いいですか。

教育長（私市 豊君）

はい、丹治委員。

委員（丹治 充君）

実は、私はこの社会科の2社について非常に迷ってしまっていて、どちらにしようかと今現在も思案していますが、若干東京書籍の方がよろしいのかなと思っています。目次にはこれから学習することが主体的に見通しを持って、児童の意欲が高まるような構成、各学年の児童が身近な生活経験や体験と結びつきの深い事例が示されていること、それから発達段階を考慮した見方、考え方ができるように、時間、空間、そして人間関係が示されていて、学びやすい文章の構成となっているように思います。また、地域の実態に応じた学習の展開ができる工夫や政治、歴史、国際の内容が1冊にまとめられていること、上下巻を別冊にして児童に扱いやすいページにまとめ、見開き単位で番号をつけて学習指導の際に使いやすく、児童の実態に合った配慮が見られるというあたりでは評価しているわけです。

それから、教育出版ですけれども、各学年児童が生活経験あるいは体験も、先ほどと同じように結びつきの深い身近な事例がやはりここでも使用されています。そういった中では、主体的に見通しを持って学びやすい、発達段階を考慮した見方や考え方ができるという思いがあります。それから、写真や図、表などの資料が色彩も良く、発色がきれいで資料が読みやすいです。特に原則的に単位時間の学習内容が見開き2ページで構成されていたと思います。学習や指導の両面からわかりやすく、見通しを持ちやすいように工夫したの

が教育出版なのかなと、見開きの紙面構成の本文ページと資料が明確に区別されていて、視覚的に見やすい配慮になっていました。写真あるいはイラストが併用されていて、児童がイメージしやすいように工夫され、次の学習につなげていくという点では見通しを持ちやすい、あるいは立てやすいということが考えられました。

五日市憲法の関係では、教育出版の方が説明もありますが、東京書籍は写真だけでしたが、本市には副教材、副読本ということで五日市憲法等についても詳しく載せられているような教材が上がっております。地域の教育という点では、十分にこの教科書以外で補えるなということだろうと思います。そういった意味で、若干東京書籍の方が宜しいのではないかと考えます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかの委員さん。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

社会科についてですが、教育出版と東京書籍は、どちらもつかみ、調べ、まとめ、生かす、広げる、そういった視点を持って作られているので、次に生かせる、今やっていることから次に、やったことを振り返れる、そういったこともできる教科書だと感じます。また、当市の教科書を考えるに当たっては、副読本はありますが、やはり五日市憲法についてどのように取り扱っているかということに私はウエートを置きたいなと感じるところです。また、教育出版、東京書籍が分冊になっていることについてですが、社会科という政治、国際、歴史といった教科は、ばらばらにあるものではなくて、色々密接に関わり合っているものですから、1つの事柄をやっているときに他の部分も、例えば政治をやっているときに歴史的な部分も同時に振り返ることができたり、そういったことも考えますと1冊の方が良いのではないかと思いますので、教育出版が私はよろしいのではないかと考えております。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員、いかがでしょうか。

委員（小西フミ子君）

私は、東京書籍を推しています。絵や写真が多く、そして6年生は分冊でしたけれども、一番気になるのが児童たちが、学校で教わった以上に、この奥はどんなことがあるのかなという自発的に考える、もっと深く知ってみたい、考えたいと思わせる構成のような気がしました。また、取り上げられているオリ・パラと国際交流にしてもそうですし、地図とともに特産品が開きに出て表示されています。新聞教育、N I Eの教育についての取組は、中身はともかくとしてやはり大事なことだと思うので、それは慎重に扱った方が良く思いましたけれども、あと五日市憲法のこと明示されていることも私の中では1つ条件に入りました。色々考えて東京書籍を私は推しました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

それでは、私の意見を述べさせていただきます。

まず、東京書籍ですけれども、写真、イラストが非常に大きくて、見開きも多く、児童にとっては読み取りやすいこと、これからの社会を生きていく上で、大変重要なところを担う5年生で扱っている情報分野、東京書籍は40ページという本当に多くのページを割いて、丁寧な教科になっております。内容の質としても、インターネットの利用のルールやトラブルについても、児童にわかりやすく表記されております。また、環境の分野では、高度成長期の中で公害問題についても、他社の教科に比較して丁寧に記述してあると私は読み取りました。巻末の索引でも、5年生では地名の索引、6年生では歴史上の人物の索引が掲載されていて、非常に使いやすいと思います。

小さい点ですけれども、5年生のところで2013年に海底火山の噴火でできた西之島、これは東京都でございますけれども、の表記があります。たしか他の教科にはないと思いますけれども、この西之島を扱っていることで、日本の国土が少しずつ増えていることがわかる、こういうところが国土というものに興味、関心が湧くのではないかなと感じました。また、分冊の問題でございます。5年、6年を東京書籍が分冊にしている。先ほど坂谷委員からデメリットの指摘もあるのですけれども、メリットを考えますと、分冊にしたことによってイラストや写真を多くできたと私はとりました。

一方で、教育出版でございます。五日市憲法につきましては、他社に比べて本当に内容が詳しく記述されていて、非常に好感が持てます。ただ、私はこの教育出版、全体的に余白が少なく文字による情報量が多く感じ、児童にとってはちょっと圧迫感を与えるのではないかなという印象を受けました。私としては東京書籍を推薦したいと思います。

単純に今3対2ですけれども、ここですぐに結論はまだ出したくないと思います。もう一度戻りまして、教育出版を推薦しております田野倉委員に再度、今の段階では東京書籍のが優位ですけれども、他の委員さんのご意見等を伺って、どうでしょうか。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

東京書籍は、私も非常に評価はしています。ただ、先ほど坂谷委員もおっしゃったように、分冊になっている点がちょっと気になりました。もちろん持ち運びの点では扱いやすいとは思いますが、ちょっと振り返りをしたい時などに分かれてしまっているのはどうなのかなと思いました。でも、今教育長からのお話もありましたように、現代的な内容やインターネットのトラブル、ルール、そういったものもやはり児童には早いうちから接してもらったほうがいいと思いますので、皆さんが東京書籍だということであれば、特に反対はしません。

教育長（私市 豊君）

坂谷委員、ご意見何かありますでしょうか。

委員（坂谷充孝君）

児童にとって学習がしやすい、取り組みやすいかどうか、またそれを生かしていくことが授業を通してできるかということが教科書選定については大きなことだと思います。そういった部分でいきますと、教育出版、東京書籍双方ともに児童の学習に向かう姿を描いてつくられていると感じておりますので、その部分についてはどちらでも私は推薦してい

るところです。東京書籍を推薦されている意見、また先ほどの西之島の表示や、情報分野、最近の話題になっていることを取り上げられている東京書籍で異存はございません。

教育長（私市 豊君）

今、教育出版を最初の段階で推薦いたしました田野倉委員さん、坂谷委員から、再度ご意見を伺いまして、東京書籍でもよろしいかなという理解だと思えます。

それでは、社会科の教科書につきましては東京書籍にすることでよろしいでしょうか。

委員（丹治 充君）

教育長、よろしいですか。

教育長（私市 豊君）

はい。

委員（丹治 充君）

教育出版は、市民のアンケートの中にも出ているのですけれど、五日市憲法という表記になっています。本来ならば五日市憲法草案がやはり正しい訳です。これもアンケートの集計資料の中でも指摘されていたのですけれども、そのところも両方ともそうなのかなと。

教育長（私市 豊君）

たしか両方ともそうだったと思って見ていました。

丹治委員、今のところをもう一度発言してもらってよろしいですか。

委員（丹治 充君）

五日市憲法草案については、五日市憲法という表記です。今日の資料については私も気になっていたのですが、草案です。説明文もそうです。東京書籍は草案になっています。その点も引っかけたところでは。

教育長（私市 豊君）

なるほど。

委員（丹治 充君）

ということです。

教育長（私市 豊君）

わかりました。五日市憲法の表記と五日市憲法草案という表記、この辺のご指摘、また市民の皆様からのご意見等、そういったところの協議でございました。東京書籍の表記は五日市憲法草案、教育出版は五日市憲法、そういう表記の違いがありましたというご指摘でございます。

それでは、社会科の令和2年度の使用教科図書につきましては東京書籍を採択することでよろしいですか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、続きまして地図帳の説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

地図の審議結果について報告いたします。

地図の教科用図書は全2社から発行されておまして、現在本市で使用している教科用

図書は帝国書院でございます。

東京書籍でございますが、児童が興味を持って取り組めるように検討されたり、東京オリンピック・パラリンピック開催地、夏季、冬季オリンピック開催地、サッカーのワールドカップ大会など身近な内容を掲載するところで工夫が見られます。

帝国書院でございますが、初めて地図を活用する児童にも興味、関心を持って取り組めるよう工夫してあるとともに、近隣の国々との位置関係や愛知、新潟といった学習の現地の詳細図があるなどの工夫がされていることなどが評価されております。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

ご意見を伺います。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

2社について検討させていただきました。帝国書院の地図につきまして配色がとても見やすいなというふうに感じました。日本の地図ですから同じ形をしているわけですが、見やすさということを感じたときに帝国書院のほうが配色がよいなというふうに思いました。また、表紙を開いたときに私感じたんですけども、東京書籍の表紙が何か2枚が分かれてしまうような感じがしました。これ4年間使うということを考えると、帝国書院のものの方がしっかりしたつくりにもなっている。もう本当に繰り返し地図帳は使うことになると思いますので、しっかりとしたつくりの帝国書院のほうがよいなと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかにごございますか。

田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、帝国書院が良いと思いました。今、坂谷委員がご指摘になったように、地形図の色合いが帝国書院の方が全体的に淡い感じで、書いてある文字が読み取りやすいです。東京書籍はちょっと色が濃いといいますか、赤みがかっている感じがして、小さな文字がちょっと見えづらいと感じました。また、帝国書院は関東地方の南部の地図にあきる野市や五日市という地名、また歴史的事項として五日市憲法等も掲載してあることも非常に良いと思いました。先ほど審議会資料にもありましたが、帝国書院の巻頭の地図の約束や地図の使い方で細かい決まりや使い方について丁寧に説明しているのも、3年生から使用するという点を意識して、非常に良くできていると感じます。

以上のことから帝国書院を推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私の意見も、今お二人の教育委員からお話あったように、同じ意見であります。そういった中で、地図をよく見ていきますと、排他的経済水域の範囲だとか、日本の東西南北間の写真が載せてあったり、日本の国土あるいはその領土を正しく理解できるように工夫しており、さらに領海などの重要な用語もわかりやすく説明しているところなど、他の委員さんと同様の意見でございます。したがって、帝国書院を私は推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、2つを見比べまして、帝国書院はそれぞれの場所の特産品など、とてもわかりやすい色分けがしてあり、わかりやすい絵も入っていました。東京書籍の方は、ちょっと資料が多くて、表がたくさんあるので、色々なものが入り過ぎてしまって、興味を絞れないのではないかなという疑問がありました。そして、私は結果として帝国書院を推しました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、2つの地図帳を比較しまして、3年生児童が初めて地図を使うわけですけれども、地図の決まり、そういったものが丁寧に説明してある帝国書院の地図がふさわしいのかなと思います。したがって、帝国書院を推薦したいと思います。

皆様のご意見も帝国書院ということでございますので、地図帳につきましては帝国書院を採択するというところでよろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の使用教科用図書、地図帳につきましては帝国書院を採択いたします。

続きまして、算数、お願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

算数でございます。算数の教科用図書は、全6社から発行されており、現在本市で使用している教科用図書は東京書籍でございます。

東京書籍は、問題を主体的に学べるよう、生活に密着した興味、関心を引く内容を取り上げ、思考を促すコメントを記載したりしている点が評価されているところです。

学校図書でございますが、学習の展開に順序が示されるなど、学びやすく工夫されている点などが評価されました。

大日本図書は、教科横断的に学びを深める工夫がされていることなどで高い評価がされています。

教育出版は基礎、基本に重点を置き、つまずきポイントがわかりやすくなっている点などで高い評価を受けています。

その他の教科用図書につきましては、お手元の資料を参考にしてください。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

教育委員の意見をお伺いいたします。いかがでしょうか。

委員（丹治 充君）

いいですか。

教育長（私市 豊君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

算数ですけれども、やはり算数の場合も指導が難しい教科書、比較的導入がしやすい教科書、それぞれ教科書会社の特徴が出ていると感じました。そういった中で、私も中を見たところでは、文字問題にチャレンジ、あるいは考える力を伸ばそうなど、主体的な学び、あるいは対話を通して学習を深めていくと、冒頭にも申し上げましたけれども、基礎的、基本的力を身につけると、新たな学習に挑戦することができるように思考を促すコメント、考え方の表示、ノート書き方あるいは補充問題、そして現在求められておりますところの深い学び等が取り上げられており、教科書の問題設定が前後の学習期間とつながりが見られますし、児童の思考の流れに沿った単元学習の展開ができると思います。

ただ、審議会の資料が出た後でお聞きしたのですが、これは恐らくあきる野市を中心にしたところの西多摩地区の小学校教育研究会、数学部会でしょうか、教材を開発された不思議な時計というものが4年生の教材として扱われておまして、これについては若手の先生方についても学習をしておりますので、比較的若手教員の皆さん方にも指導しやすいのではないかと思います。児童の個に応じた深く考えさせる場面の設定や、基礎、基本が無理なく習得できるような配列、分量が整理されていると感じました。また、使い方の手順がわかりやすく示されている物差しやはかり、この辺についても時間配分あるいは知識、技能等を習得するために適当ではないだろうかという気がいたしました。

そして、やがて中学生になるわけですけれども、中学校の体験入学コースなどは興味深いのではないかと考えられます。そのほか児童がわかりやすいように、ページの下に吹き出しのコメントがあったり、効果的な絵あるいは写真の使用がバランスよく網羅されております。これらが児童の確かな理解につながると思われます。構成については、配色、分冊、改良等が非常に見やすいこと、それから今までも幾つか出ておりますけれども、ユニバーサルデザインを想定した作りになっていること、さらには1年生の初めの算数ブロックの広い配置図、今まではそこにブロックは載らないですけれども、今回は載りそうです。教科書が開きやすく、児童が活動しやすい工夫が随所に見られるということでもあります。以上のことから、結論的に言いますと、東京書籍を推したいと思います。

そして、特に迷ったのは、大日本図書です。これまでについても、身近な題材から興味を引いたり、毎時間の目当てを持って学習させることができるもの、あるいは色々な他教科で使うような教材も使用したり、さらには算数を使った遊びページだとか等々があります。大日本図書についても選択に迷ったところでもあります。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、丹治先生と同じ東京書籍を推させていただきます。大日本図書についても、中に数学の世界へというものがありましたけども、東京書籍のほうは自分で数を使ったお話をつくる楽しさとか、身近なものを使っているということや、後ろに教材の付録が多かったり、同じように算数から数学へジャンプなど、算数から数学に上がる用意のおもしろチャレンジが載っているというところがとてもいいと思いましたので、東京書籍を推しました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私は、算数の教科図書については東京書籍を推薦したいと考えております。何よりも1年生の導入として、算数の扉という導入になる扉をしっかりと作ってくれているところが1年生にとって非常に良いと思いました。また、6年生の教科書が数学へジャンプというような副題です。これが入り口の扉があって、そして6年生を出て数学に行くんだという、その前から最後までしっかりと考えた作りになっていると考えますし、またどの学年にしても目当てがはっきりとしていて、児童にとってとても取り組みやすい教科書になっていると感じましたので、東京書籍を推薦いたします。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、皆さんと同じで東京書籍が良いのではないかと思います。先ほど審議会資料の中にもありましたが、掲載されている問題の内容が実生活に密着しているものが多く、具体例の写真も多く、児童の意欲向上が期待できるように感じました。また、ユニバーサルデザインの観点で表記がされており、児童が理解しやすい写真や絵、図などが効果的に使われているように感じます。めあてもはっきりしているため、わかりやすいと思います。1年生の導入では、A4判という少しサイズが大きい形で、発達段階に合わせた配慮がされていると感じました。教科書の内容的には、基礎、基本、発展というそれぞれの問題が充実していて、特に2年生から巻末に補充の問題、おもしろ問題にチャレンジなどが設定されて、個々の習熟に応じた発展的な学習ができるようになっています。その点も評価したいと思います。

以上のことから、東京書籍がいいのではないかと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

委員さん4人のご意見、東京書籍でございます。私も東京書籍かなと思っております。

算数というのは、つまずくと立ち直るには時間がかかりますので、できるだけつまずかないように教えていくのが大事だなと思います。そういう点では、本当に小学校1年生から6年生までの段階的に基礎、基本から発展していくという作りになっている東京書籍、良い教科書ではないかなと思います。6年生の数学へのジャンプというところで、一番最後のところに和算コースとクイズ・パズルコースというのがあったのですけれども、これは確かに中学生に向かっていくときに、こういったところを学ぶと数学の面白さが身につくのではないかなと思いました。そういうことで、私も東京書籍を推したいと思います。

以上の点から、数学に関しては東京書籍を採択するというところでよろしいですね。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の算数につきましては東京書籍を採択します。

続きまして、理科の教科をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

理科でございます。理科の教科用図書でございますが、全5社でございますが、現在本市で使用している教科用図書は東京書籍でございます。

啓林館でございますが、基本、発展の内容があって、学習の進度によって内容を深掘りすることができる点が評価されております。

大日本図書、こちらはイラストと吹き出しを効果的に配置して、問題等の事象提示が自然である点が評価されています。

東京書籍でございますが、問題設定を生活体験から引き出すように構成されている点などが評価されています。

その他の教科用図書でございますが、お手元の資料で参考にさせていただければと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

委員の意見をお伺いをいたします。いかがでしょうか。

委員（丹治 充君）

いいですか。

教育長（私市 豊君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

理科ですけれども、まず東京書籍は全体的にいつも写真が多く使われておりまして、興味、関心を引き出したり、それからまた体験と実験を重視しながら、しかも対話的な学習を取り入れている。この学習が主体的な学びに結びつける工夫が随所に見られている教科書だなと思いました。理科の広場を充実させて、発展的に捉えさせる意図も確認できましたし、この教科書の系統性や配列、分量ともに適切であり、冒頭にも申し上げましたけれども、絵や写真を適切に活用されて、より見やすさを追求した内容になっていると思いま

す。特に児童の実験や観察の手順は、非常にしっかりと説明できている内容になっております。ただ若干他の教科書よりもやや大きいという点では、確かに文字だとか写真は見やすいですけども、今までも一度問題になってはいますが、持ち運びの点で多少難があるのかなと、この東京書籍を私は推薦したいと思います。

2点目の大日本図書については、問題解決の過程を非常に重視した作りで、知識の定着で生活に生かすと、そういう点が考えられていた構成になっていることです。それから、表紙等についても理科に対する興味、関心が高められる作りになっていて、单元ごとに知識の定着が図られるように、まとめのページがつけられている。問題解決の能力を育成するという点では、指導者にとってもわかりやすい作りになっていると思いました。

以上の感想ですけども、東京書籍ということで推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにご覧いませんか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私は、大日本図書がいいのではないかと思います。巻頭の「理科の学び方」では、発達段階に応じた理科の学習の進め方がわかりやすく説明されていて、児童が主体的に見通しを持って学習に取り組めるように配慮されていると感じます。また、イラストや写真を効果的に配置することで、見やすく、児童の興味や関心が高まると思いました。予想や計画などで吹き出しを使うことで、自分の考えを持たせる工夫もあります。また、单元ごとにまとめがあり、「理科の玉手箱」「確かめよう」「発展」などでは、児童がもっと広く、深く学習することができるよう、身近な生活の中で学習したことと関係のある資料を豊富に掲載しているところが非常に良いと思います。

一方、東京書籍ですが、問題設定を生活体験から引き出す工夫があり、やはり児童が関心、意欲を持ちやすいと思います。図や写真も適切に掲載されており、児童にとって実験や観察の手順がわかりやすいと思います。話し合いのヒントとなる吹き出しを使うことで、児童の主体的な学習活動を促しています。ただ、先ほど丹治委員もおっしゃっていましたが、1社だけA4サイズでかなり大きいため、確かに文字や写真が見やすいのは良い面ですが、机の上に広げた時にちょっと大き過ぎるのではないかなというのが懸念材料です。

以上のことから私としては、大日本図書がいいのではないかと考えました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

理科についてです。理科の教科書、どの教科書を見ましても図や絵を使って、また写真なども使って子どもたち、その場においてもわかりやすいように工夫されているというふうに感じました。その中で、私は東京書籍を推薦したいというふうに思います。こちらは、

ただそのときに単元をまたぐだけじゃなくて、つかんだもの、そしてみずから調べてこれはまとめるという、自ら学ぶということを教科書の中で構成しているというふうに感じました。また、環境問題等についても表記をされており、理科といっても大きな範囲がある。その中で、自らの生活につながっているというところも、子どもたちに気づくように仕向けているように感じましたので、東京書籍を推進いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

小西委員、いかがでしょう。

委員（小西フミ子君）

私は、いまだに迷っています。1つ疑問があるのですけれども、教育出版と東京書籍で胎児の写真に、実物大の大きさであるのですけれども、2社でちょっと実物大の38週の大きさが違っているようなのです。私そこがとてもわかりにくくて、大きさは東京書籍が合っているのではないかなと思いました。そういう点があったのですが、最終的にどちらか決めるとしたならば、人体の構造もちゃんと入っていた東京書籍の方なのかなというところで今考えています。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私も、結論的には東京書籍を推したいと思っています。幾つか理由があるのですけれども、まずサイズが大きいことから、本当に図や写真、絵が非常に大きくて、わかりやすい表現になっているなと思います。それから、理科室の使い方や、ガスコンロや顕微鏡などの器具の使い方が、本当にわかりやすく、詳細に示されておりました。学んだ後に日常に使える、そういった内容になっているなと思います。それから、5年生のメダカの誕生のところが非常にわかりやすく、興味を引きました。その連続性で人の生命の誕生、人の誕生というところにもつながるように構成されておりまして、良い内容だなと思っております。それから、環境の問題も、6年生でSDGsの表記がありまして、その辺も新しい課題も入ってきているなと思えました。

大日本図書も良い点が多くありまして、写真や図、絵が本当に多く使われていて、よろしいかなと思えました。それと、6年生の電気の分野でプログラミングについても扱っているのが好感が持てました。ただ、全体的には東京書籍の方がいいと私は結論をつけております。

田野倉委員は大日本ですけれども、いかがでしょうか。

田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

東京書籍も非常によい教科書だと思いますので、大丈夫です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

それでは、理科の教科につきましては東京書籍を採択するというところでよろしいでしょ

うか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の使用教科、理科につきましては東京書籍を採択いたします。

1時間半たちましたので、ここで休憩にしたいというふうに思います。10分ほどの休憩でよろしいでしょうか。それでは、3時40分を再開いたします。

休憩 午後3時26分

再開 午後3時40分

教育長（私市 豊君）

それでは、休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

次の科目、生活科について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

生活科です。生活科の教科用図書は、全7社から発行されておりまして、現在本市で使用している教科用図書は東京書籍を活用しております。東京書籍でございますが、写真やカードが多用されていて、学習の進め方やまとめ方、発表の仕方などが具体的である点などが高く評価されています。

大日本図書、こちらは児童がカードを書く際の参考となる記載例が多く掲載されていること、虫や花などの写真が多いことが評価が高くなっている理由でございます。

学校図書でございますが、観察カードの記載について詳しく説明されている点などが高く評価されました。

日本文教出版は、活動のヒントや例が多く掲載されているため、児童が主体的に取り組めるように構成されているという点が評価されています。

啓林館については、振り返りや自己評価がしやすい点などについて高く評価がありました。

その他の教科用図書については、お手元の資料を参考にしてください。

以上です。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

教育委員さんのご意見をお願いいたします。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私は、この中では大日本図書が良いと思えました。児童の発達段階や季節に合わせた配列になっているのが非常に良いと思います。写真やイラストが大きく掲載され、内容がわかりやすいし、字も大きくて見やすいと思います。巻末の「学習どうぐばこ」というコーナーには、児童が興味、関心を持って取り組みやすい様々な資料が多く掲載されています。また、付録のような工作がついていたり、本の表紙が凹凸があって触って楽しめるようになっているのも、よく工夫されていると感じました。

以上のことから、大日本図書を推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかにご意見を伺います。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

田野倉委員とかなり重なっていました。私も大日本図書が読みやすかったことと、それから光村図書もそうでしたけれども、季節をうまく取り入れて絵や写真が上段・下段と、イラストの配置などもとても良くて、それを見ていると何か楽しくなるような配置の仕方だなと思いました。そのため、大日本図書を選びました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

生活について、大日本図書を推薦いたします。何よりも本の装丁がこれほどまでに凝った教科書があるということに驚いたわけですが、本当に触った瞬間に温かみを感じる、そのような教科書は今まで私は触ったことがないなと思いました。また、読者の気持ちをつかむという点について、非常にタッチがやわらかいもの、絵であったり写真であったり、そういった表現がされているなと思いました。生活というのは、子どもたち自身の生活と重ね合わせていく教科だと感じますので、そういったやわらかさ、温かさというのが子どもたちにとって大きなプラスになるのではないかと感じて大日本図書を選びました。以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、3名の教育委員の皆さん方と同じ意見でありますけれども、特に大日本図書の行間の空間などは見やすい表現内容となっている。特に1年生、2年生あたりが主に使いますから、写真が大きくて比較しやすくなっていると。それから、下巻の最後の方ですか、情報機器の使い方が記載されていたり、次学年へのつながる内容であると思います。イラストあるいは写真が豊富であって、わかりやすい内容ということから大日本図書を推薦したいと思います。あとは、啓林館、東京書籍あたりも良いと思ったのですが、大日本図書を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、3社の比較になりました。まず、東京書籍ですけれども、A4判サイズで写真や絵が大きくて非常に見やすいなという印象がありました。それと、日本文教出版でございますが、四季の季節感があって、教材の配列に工夫がしてあるという評価でございます。

そして、大日本図書、これも先ほどもご指摘がありますけども、表紙の装丁にでこぼこがあって、手に感じる肌触りが非常に良いなという、1、2年生が使う教科ですけれども、この生活という授業が面白い、それから学校生活が楽しくなるというような構成になっていると感じました。そういった点から、私も大日本図書を推したいと思います。

以上の点から、生活科については大日本図書を採択するという点によろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

令和2年度の教科、生活科については大日本図書を採択したいと思います。

続きまして、教科、音楽に移ります。

説明をお願いします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

音楽でございます。音楽の教科用図書は、全2社から発行されておまして、現在本市で使用している教科用図書は教育出版、教育出版は身近なことと関連がある内容を取り上げており、児童の生活や学習の実態に合っていること、迫力ある写真が多く、楽曲のイメージが広がりやすいことなどが評価されているところです。

教育芸術社でございますが、児童が親しみやすい教材が多くて、児童の関心、意欲を高められる工夫があること、合唱、楽器教材の構成が明確で、児童が音楽の授業の要素を理解しやすいという点が評価されています。また、掲示物や活動のノウハウが掲載されていて、進んで児童が学習できるよう工夫されていることも評価されています。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

説明が終わりました。

ご意見を伺います。

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

まず、教育芸術社ですが、学校の音楽室は机がない学校が結構多いです。なので、余り大きいサイズだと扱いづらいように感じるのですが、教育芸術社の方が小さいという点では評価したいと思います。巻頭で1年間に身につける内容がよくまとめられていて、児童が見通しを持って学習できます。また、毎時間ごとのめあてがはっきりと明示され、何を学ぶのかが非常にわかりやすくなっています。教材の配列に系統性があるため、6年間を通して音楽の力がバランスよく身につくように、よく考えられています。児童が親しみやすい教材が多く、児童の関心、意欲を高める工夫がされています。すっきりとした紙面で、写真や挿絵も美しく、効果的に使われています。

一方、教育出版は、低学年は小さく、中学年からは少し大きめのサイズとなっています。折り込みになっているページが数カ所あるため、インパクトがあるとは思いますが、ちょっと使い勝手が悪いのかなと思いました。内容では、学びのプロセスを示して、児童が

見通しを持って学習できるように工夫されています。また、4年生の「日本のお祭を訪ねて」という単元では、ソーラン節やおはやしが取り上げられており、本市の児童の実態としては非常に合った内容となっています。また、迫力のある写真が多く掲載されているため、視覚的に音楽の雰囲気を感じ取りやすい紙面となっています。

以上、2つを比較したのですが、全体的に見て教育芸術社のほうを推薦したいと思いません。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかに。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、田野倉委員と同様に、この教育芸術社を推薦したいと思います。大半の児童が親しみやすい内容、教材が多く取り入れられておりまして、児童の関心、意欲が高められる工夫が見られます。また、題材名といいますか題材がそのまま目標になっているために、何を学ぶのかがはっきりしているという点です。それから、写真、挿絵のバランスが適切でわかりやすいということで、以前の教科書と大分変わった内容で作られているなと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにございますか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、教育芸術社の方は幼稚園や保育園からの流れをつないでいる、知っている曲、わかりやすく、すぐに音楽に親しめると思いましたけれども、私自身は楽器の使い方などについて丁寧に、大きく、わかりやすく示されていた教育出版の内容が写真も多くてわかりやすかったので、とても迷いましたが私は教育出版の方を推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私は、教育芸術社を推薦したいと思います。音楽について、教育芸術社の教科書につきましては、今小西委員が申されましたように、1年生の教科書が非常に入りやすいなと感じました。色々なところから就学する子どもたちがいるわけですけれども、どの子にも取り組みやすい内容からスタートしていると感じたことと、また比較をすると、私が見た限り音楽の教科書ですから歌詞ですとか楽譜があるというのはそれはそうなのですが、教育芸術社の方が教科、音楽としてだけではなくて、身近なもの、表現の楽しみという形で捉えられるのではないのかなと感じましたので、教育芸術社を推したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私も、この2社については両方とも良いかなと思っています。まずは教育出版ですけれども、全学年合唱用に「さんぽ」の歌に手話と足踏みの踏みつけが全学年でついている工夫があるというのは、非常に好感が持てました。それから、国歌であります「君が代」の扱い、これも教育出版と教育芸術社比較すると、教育出版の方が何か落ちついたものになっているという印象を受けております。本のサイズも、1、2年生が一回り小さくしてあるというのも工夫しているなという評価でございます。

一方で教育芸術社、こちらは児童が親しみやすい教材が多くて、子どもたちの関心、意欲につながる工夫がされている。写真や挿絵がバランスよく、適切な配置されている。5年、6年では音楽の歴史をつくった人物、この紹介が写真つきであるという点がありまして、どちらも良いなというところでございます。

教育芸術社を推す委員さんが3人ということでございますので、それについて私も賛成できますので、小西委員もその辺はよろしいでしょうか。

委員（小西フミ子君）

はい。

教育長（私市 豊君）

それでは、音楽につきましては教育芸術社を採択するというところでよろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度音楽につきましては教育芸術社を採択いたします。

続きまして、図画工作でございます。

説明をお願いします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

図画工作の審議結果についてでございます。図画工作の教科用図書は全2社、現在本市で使用している教科書は日本文教出版でございます。

開隆堂でございますが、写真が大きく、色鮮やかで見やすく、各所にキャラクターが登場するなど、児童の興味、関心を高める工夫があること、またキャラクターがおもしろヒントを提示しており、児童自身で学習活動が進められるようになっているところが評価されているところです。

日本文教出版でございますが、児童の生活の身の回りにある材料を取り扱っており、写真等も多く、興味、関心を高める工夫があること、多様な材料を使っており、主体的な学習活動を促し、さまざまな造形活動を体験することができる内容であること、写真や図表等が整理されていて見やすく、効果的であることなどの点が高く評価されています。

以上です。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

各委員の意見をお伺いいたします。いかがでございましょう。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

日本文教出版を推薦したいと思います。子どもが活動している様子の写真が多く掲載されていて、児童が意欲を持ちやすいこと、また写真が見やすく、明るく、色鮮やかでレイアウトやデザインも非常に適したものになっていると思います。巻頭にオリエンテーションのページがあり、教科の目標や教科書の使い方が示されています。また、巻末には「使ってみよう材料と用具」のコーナーがあり、わかりやすくまとめられているのが良いと思いました。

一方、開隆堂ですが、授業のねらいや学習のめあてがきちんと整理されていて、授業方法、指導方法も紙面から読み取りやすく、指導者の参考になると思います。「ひらめきさん」「くふうさん」「こころさん」という3つの親しみやすいキャラクターが学習のヒントを出していて、児童の学習意欲が高まるようによく工夫されていると感じました。

甲乙つけがたいのですが、この2つを比べて日本文教出版を推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、結論から申し上げますと日本文教出版を推薦したいと思います。児童の実態から研究された内容が大変良いと思います。さらに、現代美術や資料も提示されて、子どもたちが興味、関心を持てるような見本を用いるという工夫も見られています。読みやすく、そして理解しやすい表記や写真が提示されているという点では、開隆堂も大変良い教科書でありますけれども、日本文教出版を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかに。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私は、日本文教出版を推薦したいと思います。どちらも写真等を使っている教科書ですが、どちらかというと日本文教出版の写真の方が、子どもたちが取り組んでいる様子や不思議なところに気づいた様子であったりが写真として出ています。これは図画工作の活動するとき、これをというものが余り提示されてしまうと、それを作るんだというところに目が行ってしまうのかな。そうではなくて、作る楽しみ、喜び、そういったものを感じる教科書として日本文教出版の方が適しているのではないかと、比較をするとそのように思いましたので、日本文教出版を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、坂谷先生と同じで、児童のやる気が広がっていくことがとても大事だと思います。図工に関しては、あくまでも児童の表現の幅を広げる自由さを生かしてほしいと思います。自らやってみたいと思う題材を設定されているところ、先生のやり方、センスで、図工をいかに楽しいかと思わせてくれる腕にかかるところもあると思いますけれども、日本文教出版で、その流れで別に支障がなく、写真などを見ると、とても楽しそうで、表現が感じられました。なので、日本文教出版を私も推薦させていただきます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私も、どちらも評価しているのですが、まず開隆堂につきましては本当に写真が大きくて見やすい。キャラクターを活用して児童の興味、関心を引く工夫がある。1年間の題材が系統立って配列されているという点が評価できるところでございます。

一方で、日本文教出版、こちらは児童の身の回りの材料を扱っているということ、活動中の写真、そういったものが多く使われております。そして、明るくて色鮮やかで、本当に読みやすいなという教科書になっておりました。

総合的には私も日本文教出版を推したいと思います。

委員さんの意見も日本文教出版でございますので、この図画工作につきましては日本文教出版を採択することよろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の教科、図画工作につきましては日本文教出版を採択いたします。

続きまして、保健体育につきまして説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

保健でございます。保健の教科用図書は、全5社から発行されておまして、現在本市で使用しているのは学研教育未来でございます。

東京書籍は、具体的な生活場面を取り上げており、日々の生活に結びつけやすいように工夫されていることや、1時間の内容が明確に示されていることなどが評価されました。

光文書院は、漫画を用いた展開を採用していることや表紙の裏にアスリーの言葉を記載するなど、児童生徒の興味を持ちやすい工夫をしている点や、こちらも1時間の狙いや流れが明確に示されている点が評価されています。

学研教育未来は、学習の進め方を明記しており、児童がどのように学習を進めれば良いかわかりやすい内容になっている点や防犯、災害への対策支障が効果的である点などが評価されています。

その他の教科用図書につきましては、お手元の資料を参考にしてください。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

意見をお願いいたします。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

結論から申し上げます。私は、学研を推薦したいと思います。要は既習学習といいますか、事項を踏まえた学習が展開できるように考えられており、児童が学習の見通しが持てるように、狙い、あるいは流れが明確に示されていました。写真や挿絵など、ページ構成など適切であると思います。特にユニバーサルデザインの観点で記されているため、文字や配色などページを構成する要素がよく考えられており、読みやすくなっておりました。こういったことから、学び方がわかりやすくまとめられ、知りたい、あるいは調べたいという学習意欲を高め、喚起しているところが感じられます。そして、学習の過程がわかりやすい書き込み欄が多くありまして、その他写真、イラスト等が多いのが良いと思いました。その他、東京出版も良いですけれども、学研教育未来を推したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も、学研を推薦したいと思います。東京書籍などはAEDの使い方なども載っていますけれども、児童の悩み相談、思春期に向けて養護の先生に相談できないことや、他の子どもの悩み無料相談、チャイルドライン、子どもの人権110番の電話番号を記載されています。あと毎回思いますが、学研は色使いがとてもきれいで、見やすいというところがありまして、私は学研を選ばせていただきました。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私は2つです。まず、東京書籍ですが、こちらは児童自身の生活とリンクしている、つながっている内容が一番近いなと感じました。やはり保健については、自分自身の健康に対して興味、関心を持ちつつ、ではどのようにしたら良いのかを学んでいく教科だと感じますので、生活とつながっていることは非常に大きな点だと感じます。

もう一点の学研でございます。こちらにつきましては、内容に関しては重なっている部分があるわけですが、特に今回防犯の災害への対策、自分や今の生活がどうなるかだけではなくて、いずれ来るかもしれないこと、そういったところに対策も含めている教科書だということで、2つを推薦します。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

田野倉委員、いかがでしょうか。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私も、坂谷委員と同じで、東京書籍と学研で迷っています。東京書籍は1時間の内容が明確で、学習のめあてがわかりやすい、また配列も発達段階に応じた適切なものになっています。具体的な生活の場面を取り上げていて、児童が日々の生活に結びつけやすい工夫があると感じました。掲載されている図や表、グラフが鮮明で、わかりやすいことも良いと思います。教科書に書き込む形式になっていて、生徒が自ら主体的に学習に取り組める点も評価したいと思います。各章の最後には、「学習をふり返ろう」というコーナーがあり、学習した内容を再確認できるようになっています。

一方、学研ですが、目次に2年間で学ぶ内容が書かれていて、発達段階に応じた配列になっています。また、こちらも児童が学習の見通しが持てるように、1時間の学習の進め方が明示され、考える・調べるという学習活動の時間が毎時間設定されています。「もっと知りたい・調べたい」のコーナーでは学習を広げ、深める内容を扱っていて、先ほど坂谷委員もおっしゃっていましたが、自然災害や緊急事態に備えての対応あるいはインターネットで犯罪に巻き込まれないためになど、今日的な問題も取り上げているため、実生活にも応用しやすいのではないかと思います。

今、この東京書籍と学研と2つ、どちらがふさわしいかと悩んでいます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

そうですね、私も学研の災害を扱っているところは、非常に今の時代に合った教科だなと本当にすごく得点が高いです。全般的には東京書籍ですけども、防犯、災害対策というところで、私も今の時代にはいいのかなと皆さんの意見を聞いていても思いました。そのような方向でよろしいですか。何か、特にございませんか。私も学研でよろしいかなと思ういますけれども。

《なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、学研にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の保健につきましては、学研を採択いたします。

続きまして、家庭科につきましては説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

家庭科でございます。家庭科の教科書は全2社、その中で本市が現在使用しているのは東京書籍でございます。

東京書籍でございますが、基礎、基本と発展の内容がそれぞれ充実していること、学習内容がわかりやすく、順序よく提示され、発展的内容も多い点などが評価されています。また、巻末資料は制作実習の振り返りに適していると評価されているところです。

開隆堂は、調理例が多く、買い物学習から調理実習等につなげており、生活とつなげて

いる点などが評価されます。巻末資料には中学校とのつながりについて記載されている点も評価されているところです。

以上です。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

ご意見をいただきます。いかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

私は、東京書籍の推薦をしたいと考えます。2社を比較しますと、どちらかといいますと、知識を得ることは必ず必要なことではあると思いますが、それを知識としてとどめるのではなくて、どのように生かしていくか、また身につけるんだということを意識して作られていると感じます。ただ、栄養素とか、そういったものももちろん必要ではありますが、生かすということが必要な部分ですので、実際にやってみる、子どもがやろうという気持ちになる教科書は東京書籍だと感じましたので、推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私も、東京書籍を推薦したいと思います。開隆堂も非常に良い教科書で、なかなか甲乙つけがたいところも実はありました。東京書籍を推薦した理由には、基礎、基本と発展がそれぞれ充実した学習内容になっておりまして、順序よく学習の展開される作りになっている。特に基礎、基本の定着はわかりますが、さらに発展的な内容も多く提示されておりまして、調理あるいは環境、裁縫の配列順とありますけれども、わかりやすく示されていると思います。こういったことは、児童が自分の学びを振り返るのに大変適しているだろうと思います。坂谷委員からも推薦がありましたように、学習で得た知識、これを活用する、日常生活に生かすためには、大変良い項目が並べられている。学習されるようになっているという点で、東京書籍を推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、東京書籍を推薦したいと思います。学習の内容がわかりやすく、順序よく提示されていて、発展的な内容も多いと思いました。「生活を変えるチャンス」では、子どもたちが授業で学んだことを実生活で生かす工夫があり、主体的に取り組めます。また、サイズがA4判でちょっと大きいですが、実物大の写真があることで、調理や裁縫の基本が理解しやすい構成になっていると思います。実技教科ではやはり40人弱の生徒を1人の先

生が教えることは非常に大変ですので、実物大の大きさの写真を見ながら自分で取り組めることは非常に評価したいところです。

一方、開隆堂ですが、写真やイラストを多用し、見ていてわかりやすいようになっています。また、他の教科との関連性に着目して、例えば巻末には家庭科の用語を英語で示すなど、色々な教科の横断的な内容が入っていることは非常に面白いなと感じました。全体的に見まして、東京書籍がふさわしいと判断しました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

小西委員はよろしいですか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、2つ悩んでいました。東京書籍の方は調理、裁縫など実物大で基礎もしっかりとわかるので、とてもわかりやすいですけれども、開隆堂は本が小さい、それから最後に栄養素の表が出ていることもとても良いと思いました。どちらにしようかと本当に甲乙つけがたかったので、他の先生方が東京書籍が良いのであれば、私もそれで異議なしです。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私も、2社の比較でしたが、東京書籍がいいかなと。各委員さんからも出ていますように、児童が家で取り組む際に、非常に利用しやすい内容になっていると思います。これからの生きる力につながるのではないかという点で、楽しく料理ができたり裁縫に取り組む姿勢が生まれるのではないかという点を評価して、東京書籍を推薦したいと思います。

他の委員さんもそういう意見でございますので、この家庭科については東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の家庭科につきましては東京書籍を採択いたします。

続きまして、英語の教科について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

英語の審議結果について報告いたします。英語の教科用図書は、全7社から発行されており、今回が初めての採択となります。審議会においては、全ての教科書が評価が高かったと言えます。その中で、Aの観点が多かったのは三省堂、光村図書、開隆堂でした。

三省堂でございますが、これまでの外国語活用で使用していた単元をもとに学習を展開しており、児童にとって無理のない範囲の英会話が表記されています。また、英語の表記も多過ぎず、スモールステップを大事にした学習量、学習内容である点が評価されています。レッスンの終わりに書くことを含むまとめのページがあるのも評価されています。

光村図書は、ユニットごとにゴールが示され、1単位時間の中で学ぶことについて明確になっていることや、児童にとって身近な表現について課題設定し、学習を展開している

ことが評価されています。アルファベットを書く部分が多く、大文字、小文字の特徴をしっかりと認識し、読み書きにつまずかないよう、段階的に学べる工夫がされていると言えます。

開隆堂は、1単位時間に1ページとなっており、指導量が適切である点や有名スポーツ選手やアニメキャラクターを使って児童の興味、関心を高める工夫をしている点などが評価されています。また、分節で改行するなどの配慮がされていることや、児童が継続して自己評価を書き込めるようにしているなど、指導上の配慮がされているところも評価されています。

その他の教科用図書につきましては、お手元の資料を参考にしてください。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

これからご意見を伺いますが。

田野倉職務代理人。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

初めての小学生の英語教科書ということで、どの教科書会社も非常に力を入れている印象を受けました。私も実際に小学生に英語を教えている立場として、非常に興味深く拝見しました。7社全ての教科書が読む、書くではなく、聞く、話すに重点を置き、英文法からではなく、コミュニケーションを重視しながら楽しんで学べるように、よく工夫されていると感じました。教科書展示会の市民アンケートにも、社会科と同じぐらい多くの方が英語の教科書について記載されており、市民の関心の高さを実感しました。残念なことですが、あきる野市の子どもたちは日常生活の中で英語に触れる機会が非常に少ないのが実情です。実生活の中で使うことの少ない英語を学ぶモチベーションが上がるような教科書、初めて教科として触れる児童にとっても初めて指導することになる小学校の先生方にとっても、わかりやすいスモールステップのものを選んでいきたいと思いました。

その中で、一番ふさわしいと思ったのが三省堂です。少し横に大きいので、ゆったりとした紙面になっていて、内容にも児童の興味を引くものが多く、挿絵や写真なども非常に見やすくなっています。学習量、内容ともちよつとずつ増やしていく構成で、児童にとって無理のない形になっています。話すことに重点を置いて、楽しんで学べるよう、よく工夫されています。単元ごとに「HOP」「STEP」「JUMP」と3つに分けた授業展開例が示されているため、初めて英語を教える立場になる先生にとっても教えやすいのではないかと思います。巻末の「Words & Phrases」では、色々な言葉を種類ごとに分けて挿絵とともに示しており、辞書代わりに非常に使いやすいのではないかと思います。

また、教育出版については、従来外国語活動で使用していた「We can」の中で取り組んできた単元や内容の構成が同じなので、先生方も使いなれているのではないかと思います。児童にとって身近な内容が題材となっていて、興味を持って取り組めると思いました。日常生活で英語が使えるよう、よく工夫されていて、絵カードやシールを使用して学習活動する場面もあり、楽しく英語を学べるようによく工夫されています。

また、東京書籍ですが、中学校では現在「New Horizon」という教科書を使用しているので、9年間を通した指導の連続性を考えるのであれば、東京書籍になります。ただ、A4

サイズの教科書で、教科書に直接書き込みながら学習を展開する構成となっているので机の上に広げたときに扱いづらいのではないかと感じました。聞く、読む、話す、書くの4つの領域がバランスよく設定されていて、辞書がわりの Picture dictionary は、これから先ハンドブックとして重宝しそうに感じました。

以上、幾つかコメントさせていただきましたが、本市の児童の実態を考えると、三省堂の教科書が一番わかりやすく、平易でつまずきが少ないのではないかと考えるため、一番ふさわしいと考えます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

英語の教科は今回が初めてでございます。ただいまの田野倉職務代理者は、英語について専門家でございます。今の意見を含めて他の委員さんのご意見を伺いたいと思います。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も三省堂の教科書が一番日本語の説明文も割合近場に書いてあって、他の教科書も良いですが、いきなり英語から始まっていることが、初めての子どもたちにとって何だろうだけで終わって不安になってしまうのではないかなという気がしました。そこに比べると、写真も豊富で、わかりやすく、英語が好きになりそうだなという気配を感じたので、三省堂が良いと思いました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

今次の学習指導要領の改定によりまして、新たに外国語、英語学習が施行されるわけがありますけれど、やはり各学校では先生方でも研修を重ね、学習研究会、研修会の中で研さんを積んできたと思います。そうした中で、児童が英語嫌いにならず、進んで英語に触れることが喜びとなり、好きになるような指導が望まれるわけがありますので、こういった観点から教科書7冊を拝見いたしました。各社様々な努力が見てとれ、平易なものからちょっと難しいなという、それぞれ特色のある教科書だと思いました。

そして、児童が学びやすく、指導者の教師が教えやすいような教科書という観点から調べたわけでありまして、そうした中で学びの見通しを立てた単元の全体を把握させたり、目的や場面設定を意識した繰り返し表現させたり、そして既習学習をもとに、その活用を図る学習など、これらの学習に系統性が考慮されており、これまでの外国語活動で使用していました単元をもとに学習を展開しており、先生方でも教えやすい紙面構成になっている、これが先ほど出ている三省堂の教科書なのかなと思いました。特にスモールステップを大事にした学習量、学習内容、それから幾つか出ておりますけども、無理のない範囲での英会話が表記されている点や、これら方々隅々、児童のつまずきを減らす1つの工夫だと思いました。特に児童の感覚を重視しながら、学校生活の流れも章の終わりに

書くことを含めてみたり、まとめの活動を載せている教科書となっている三省堂の教科書を第1番目に推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

英語につきましてですが、光村図書もしくは三省堂と思い推薦いたします。教科としての英語なわけですけれども、基本的にはコミュニケーションを英語というものを使ってやる、それを教科にしたんだということで、全7社の教科書を見ますと、このコミュニケーション、相手と自分との意思疎通を図るもので、割と日本人が苦手とする自己表現というものを楽しみながら表現できる作りになっていると感じました。ただ、細かいところにつきましては、深くは私ではわからなかったもので、どちらかがいいなと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私も、英語の教科書というものを何年ぶりかで見たのですが、やはり小学校5年生、6年生が英語の教科書を学ぶわけですので、最初に何だこれは、こんなの見たくないなということは、やはり避けるべきだなと思います。そういう点では先ほど田野倉委員から指摘がありましたように、余りプレッシャーを与えないような、いわゆる英語の文字が全体的に少なく、それで入りやすい教科書、そういう意味では三省堂が7社の中では一番優れているのではないかなと思います。あとは内容的には5年、6年で学んで中学につながるわけですので、スタートの時点でとにかくつまずきができるだけない教科書がいいことから私も三省堂を推薦したいと思います。

他の委員のご意見も三省堂がよろしいのではないかという意見だと思いますので、英語の教科書については三省堂ということによろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の英語につきましては三省堂を採択いたします。

続きまして、道徳の教科書でございます。

説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

特別の教科道徳の教科用図書は、全8社から発行されており、平成29年度に採択を初めて行い、平成30年度及び今年度と2年間東京書籍を使用しています。

現在までのところ、各学校から不都合等の指摘は上がっていないところです。今回の審議会報告では、東京書籍は各学年の学習や生活と関連のある教材が配置されており、身近な材料から道徳的な価値に迫ることができる内容まで網羅されている点などが評価されているところです。

光文書院は、教材ごとに問いがあり、受動的な学習ではなく、児童がその問いについて学習に取り組めるような工夫がされているところが評価されています。

学研については、他社に比べ教科書が大きく、写真も挿絵も鮮明である点などが評価されているところです。

その他の教科用図書につきましては、お手元の資料をごらんください。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

何か特にご意見ございますでしょうか。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

道徳8社ありましたけども、今まで使っていた東京書籍を私は推したいと思います。理由は、やはり各学年の学習あるいは生活の関連のある教材が配置されておりまして、身近なところ、あるいは生活から道徳的価値に迫ることのできる内容まで、先ほどの説明の中でも網羅されているというようなお話があり、私もそのように感じました。そして、この各社の中では道徳的な価値観の押し売りではなくて、個々に考えさせるためのポイントが明示されておりまして、児童が問題意識を持って考えられる構成となっているような気がいたします。いじめ問題に関する教材も全学年で記載されておりまして、こういった意味では少なくとも子どもたちは身近な問題として考えてくれるだろうと思います。また、発達段階に応じた文字の大きさ、あるいは行間などの工夫も見られておりまして、私はこの東京書籍を推薦したいと思います。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

道徳の教科書ですが、東京書籍を推薦いたします。どの教科書につきましても、子どもたちの道徳教科として日々の生活の中、また社会的な問題になっていることについて取り上げているわけですが、この東京書籍の新しい道徳については、子どもたちの気づきから自分たち自身が考える、生活を振り返る、そして次に生かすところまでを考えて作られた教科書になっていると一番感じた教科書でした。ですので、こちらを推薦いたします。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

ほかの委員さん。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私も、東京書籍がいいと思います。昨年度初めて道徳の小学校の教科書として、この東京書籍を採用し、1年間ちょっと経ったところです。審議会資料の中でも、東京書籍が非

常に使いやすい、またこれで使いたいという声が現場から上がっていることが見てとれることと、内容を見させていただいても、古くから受け継がれてきているものと現代的な課題とがバランスよく配置されていて、またきちんと発達段階を踏まえて繰り返し学習ができるよう、よく工夫されている点を評価したいと思います。なので、東京書籍を推薦したいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、光文書院と東京書籍で迷いました。光文書院は、学年に合った絵も内容もとても良くて、身近なことがわかりやすく書かれていました。インターネットのことについても書いてありましたけれども、エコ活動も書いてありました。また、「ひろしくんの看護」、「きみの声が聞きたい」という文は横に線を引きたくなってしまうほどの良い内容だなと思いました。

それから、東京書籍はやはり全部の学年にいじめについて取り上げられていることと、みんなで考えようという内容、字の大きさもちょうど良く、プラスチックごみのいけないこと、それからボランティア体験や遠藤謙さんの技術で障害をなくしたいという人を思いやる心のような、相手を思いやる気持ちが書いてあったので、その両方で考えまして、良いことがたくさんあると思う東京書籍を選びます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

私も、東京書籍で引き続き行きたいなと思います。昨年採択していますので、特に課題等も指摘されておりません。内容的にも評価が高いと思いますので、道徳については東京書籍を採択したいと思います。いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。それでは、道徳につきましては東京書籍を採択いたします。

今までの中で、特に何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、これをもちまして質疑を終了いたします。

議案第10号令和2年度使用教科用図書（小学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第1 議案第10号令和2年度使用教科用図書（小学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認されました。

続きまして、日程第2 議案第11号令和2年度使用教科用図書（中学校）の採択につい

てを上程します。

提出者は説明をお願いいたします。

指導担当部長。

指導担当部長（鈴木裕行君）

議案第11号令和2年度使用教科用図書（中学校）の採択についてを説明いたします。

議案第11号の対象となる教科用図書は、平成30年度に採択をしていただいた特別の教科道徳を除く全ての教科であります。採択事務につきましては、議案第10号と同様に進めてまいりました。なお、中学校の教科用図書につきましては、令和3年度に中学校の新学習指導要領が全面実施を迎えることを受けて、令和元年度に新たな教科用図書の選定が行われます。その後、令和2年度に改めて教科用図書の採択を行い、令和3年度から新学習指導要領に準拠した新たな教科用図書を使用することになります。また、4年に1度行っている中学校の教科用図書の採択につきましては、前回の採択が平成27年度に行われていることから、今年度は平成27年度に続く採択の年になります。したがって、本日は令和2年度の1年間のみに中学校で使用される教科用図書について採択をしていただくためのご審議をお願いすることになります。

議案第11号に関する資料につきましては、引き続き指導担当課長から説明いたします。

指導担当課長（間嶋 健君）

それでは、令和2年度使用中学校教科用図書選定資料審議会資料につきましてご説明いたします。

この資料も先ほど小学校教科用図書採択資料と同様、あきる野市公立学校教科用図書選定要綱に基づいたあきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会によって作成されたものでございます。最終的に採択をしていただくに当たって、参考として作成したものでございます。この資料につきましても、教科専門部会、教科用図書調査委員会、あきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会を経て作成されております。

なお、今年度の中学校の教科用採択につきましては先ほど指導担当部長の話にもありましたとおり、令和3年度に全面実施される新学習指導要領に準拠した教科用図書採択がされるまでの1年のみ使用する教科用図書の採択となります。

また、平成30年度の検定において新たな図書、1点社会、歴史分野の申請がありましたが、その後取り下げられたため、前回の平成26年度の検定に合格した図書の中から採択を行うこととなります。そのため、平成27年度の採択において行われた調査研究の結果や4年間の使用実績等も踏まえて採択事務を進めた次第でございます。

それでは、選定資料がつくられた経緯に沿って説明いたします。

選定資料は、教科用図書調査委員会の下部組織である管理職1人、教員3人、技術家庭科のみ4人で構成される教科専門部会によって、教科ごとに教科用図書と平成27年度の採択において行われた調査、研究の結果を照らし合わせて検討し、加除訂正を行いました。この教科専門部会を組織している教員3人は、先ほどの小学校と同様、専門性の高い人物でございます。同時に、各中学校においても教科用図書と平成27年度の採択において提出された学校意見等を照らし合わせて検討し、加除訂正を行い、今年度の学校意見として提出しております。

中学校の管理職によって構成される教科用図書調査委員会では、各教科専門部会が加除修正した資料と、各学校から再提出された学校意見を踏まえながらまとめたものでございます。教科用図書調査委員会がまとめた資料は、あきる野市公立小中学校教科用図書選定資料審議会に提出され、こちらは先ほど申し上げたとおり、校長2人、市民代表はPTA連合会会長、副会長、行政として教育部長、指導担当部長の計6人で組織されており、調査資料をさらに審議し、適正なものであるかどうか判断したところでございます。第1回は6月10日に、第2回は7月9日に開催し、実際の各教科書と照らし合わせながら内容の選択、配列・分量、表記・表現、使用上の便宜の4つの項目の所見について客観性の有無等に協議検討して、本資料を作成した次第でございます。

審議会においてですが、基本的にはどの教科書も適正であり、それぞれ良さがあること、中学校で4年間使ってきた実績があること、大きな問題点等を指摘する意見は保護者や教員から出ていないこと、あきる野市の地域性や子どもの実態を踏まえた教材が掲載されていることなどが重要であり、本審議会資料はそれらを踏まえて調査分析をされており、適切であると判断しております。審議に当たっては本資料を参考にさせていただければと存じます。

なお、教科書展示会において記載された市民アンケートも同様のよう配付させていただいておりますので、審議に当たってはその両資料を参考にさせていただければと考えております。よろしく申し上げます。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ご意見等ございますか。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

今、事務局から説明がありましたとおり、今回現在使用中のものとは別の新しい教科書を採用してしまうと、1年間だけの使用となってしまう可能性があります。指導の連続性や現場の先生方の授業準備等の負担を考えると、そのまま継続をすることが良いかと思えます。作っていただいた選定審議会の資料を拝見しても、現在使用中のものの評価が非常に高いですので、現在使用中の教科書をそのまま継続して使用する方向で考えてはいかかかと思えます。

教育長（私市 豊君）

継続性という意見でございますが、特にいや、そうではないという、そういうご意見ございますか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

1つ確認をさせていただきます。令和3年度からは、中学校の新学習指導要領に基づいた教科書を採択、また別の教科書を採択するというところでよろしいでしょうか。

教育長（私市 豊君）

事務局、よろしいですか。

指導担当課長。

指導担当課長（間嶋 健）

今回の小学校と同じように、新しい学習指導要領に準拠した教科書が検定本になりまして、それを採択になると、協議をお願いするということになります。

教育長（私市 豊君）

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

ありがとうございます。ということであれば、1年間だけ別のものを使うのではなく、これまで4年間実績がある、そして評価の高い教科書を1年間使うことが望ましいと私も思います。ありがとうございます。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございます。

丹治委員、よろしいですか。

委員（丹治 充君）

私も、同意見です。

教育長（私市 豊君）

小西委員もよろしいですか。

委員（小西フミ子君）

同じです。

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の中学校の教科書につきましては現在使っている教科を継続して使うことでよろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、令和2年度の中学校教科につきましては、現在使っている教科書を採択したいと思います。

ほかにご質問ございますか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

議案第11号令和2年度使用教科用図書（中学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第2 議案第11号令和2年度使用教科用図書（中学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認されました。

ここで休憩といたします。再開は午後5時20分といたします。

休憩 午後4時54分

再開 午後5時20分

教育長（私市 豊君）

それでは、休憩前に続きまして会議を継続いたします。

日程第3 議案第12号あきる野市学校給食センター運営協議会委員の委嘱についてを上程します。

なお、本件は人事案件ですので、非公開で会議を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

それでは、説明を教育部長にお願いいたします。

= 非公開 =

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

議案第12号あきる野市学校給食センター運営協議会委員の委嘱については、原案のとおり承認することに異議ございませんか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第3 議案第12号あきる野市学校給食センター運営協議会委員の委嘱については、原案のとおり承認されました。

続きまして、教育長及び教育委員の報告でございます。

委員さんから何かご報告ございますか。

委員（丹治 充君）

いいですか。

教育長（私市 豊君）

丹治委員。

委員（丹治 充君）

報告は、先般相撲大会行われました。教育委員会事務局の皆さん、暑い中、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。市民は大変喜んでいました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかにございますか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私7月9日に多摩全生園、国立ハンセン資料館に行ってきました。1年ぐらい前に見た樹木希林主演の「あん」という映画を見たときから行ってみたいと思っていました。そして、本当に偶然ですけど、その日の夕方のNHKニュースに、ハンセン病患者の家族への補

償について起こした訴訟に対し、国が控訴しないという判決を下したというアナウンスと、同時に昼間観てきたばかりのハンセン病患者たちの絵画や作品展の映像が流れて驚きました。それ以降ハンセン病のことがテレビで放映されているのですけれど、昔、原爆ドームを見に行ったときの、原子爆弾の悲惨さにすごくショックと重く嫌な気持ちが広がったのと同じくらい、今回は人種差別として、国からこんなに差別されてきたという現実を目の当たりにし、非常にショックを受けました。

資料館には6歳の子供から60歳まで一生その場所にいなければいけなかった体験談などがたくさんあって、昔はあの広い敷地が自治体になっていました。どこかに出ようとすると、牢屋のような場所に入れられ、一生を過ごします。病気が悪化して、病気の人が火葬される写真がありました。その作業自体もみな患者同士です。体験談ですごくひどいと思ったことは、一生そこにいなければいけない運命になってしまったら、国がここで結婚をさせますが、男性も女性も子どもができないようにしてしまう。

ただ、女子棟と男子棟と分かれているので、夜になると6歳の子供を含む8人の女性の1部屋に5組の夫婦が入るので、その部屋が13人になってしまうという環境で本当にその場から逃げることもできません。資料館の見学は団体で見ってしまったらわからないですけど、ゆっくり1つずつ見ていたら、本当に涙が出そうな、考えられないような差別をこの人たちは一生味わっていたんだなというつらさがとても伝わってきました。小学生にもわかりやすいように10枚くらいで一つ一つ差別をされる経緯などが書いてあります。場所は清瀬市に近い東村山市で、私もよく通ったことがありました。5月1日現在で156名の方が、市営住宅みたいな形で今も住んでいらっしゃいます。

どこにも帰るところがないですし、子どもも生ませてもらえなかったのが当然孫もできない、どこか行けるところもないのでそこに住まわれているのですけれど、その中を散歩しながら大勢人が来るとやっぱり喜んでくださったり、その中で一生を過ごすので、映画館があったり消防団があったり、逃亡しないように見張る場所や、洗濯1日2円ぐらいでそういう仕事を任されたり、もう本当に筆舌に尽くしがたい差別を受けた跡地が記されていました。なので、もし時間がありましたら、実際に見て、聞いて、自分の中に人間が生きるということって何なんだろうなということを感じてほしいなととても思った場所でしたので、報告させていただきました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

私からも報告させていただきます。

一昨日、青少年問題協議会に出まして、その中で警察署、児童相談所、小学校、中学校、高等学校等からの青少年に関する現状や課題について報告を受けました。その中で、特に、スマホ、いわゆるSNSによるいじめ、事件、トラブルがどこの層でも急増しているという報告がありました。本当に防ぎようがない。一旦表に出ると、もう防ぎようがない、拡散を止める手段がないという、非常に深刻な時代になったなということです。手をこまねいているわけにはいかないので、何か手を打たなければいけないということで、これは行政としても責任を持ってやらなければいけない。関係機関と本当に連携してやっていく必

要があるなど、つくづく思ったところでした。

全国的にも問題となっていることですが、市内の小学校、中学校でも少なからずあるという報告も受けていますので、何とか本人が一番注意しなければいけないのですけれども、あとは家庭、地域、そういったところで本当に何とか対応できればなと思っています。

特に何かございますか、よろしいでしょうか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、これで教育委員報告、教育長報告を終了します。

最後に、事務局から、今後の日程等についてご案内をお願いいたします。

教育総務課長（鈴木将裕君）

それでは、今後の日程等についてご案内させていただきます。

8月中の学校訪問ですが、夏休み期間中ですので、実施の予定はございません。

8月9日金曜日、東京都市町村教育委員会連合会の第2回理事会と第1回理事研修会が東京自治会館で開催されます。理事会の開催時刻が午後2時からとなっておりますので、丹治委員におかれましては当日午後12時50分に市役所にお越しいただきますようお願いいたします。

最後に、次回8月の定例会でございます。開催予定日、8月21日水曜日ですが、当日の昼間、やはり東京自治会館で東京都市教育長会が開催されることから、開催時刻を午後6時からとさせていただきたいと思っております。事前の打ち合わせにつきましては、午後5時半からの開催とさせていただきますので、その旨ご了承ください。

私からの報告は以上です。

教育長（私市 豊君）

それでは、何か特にございますか。よろしいですね。

以上をもちましてあきる野市教育委員会7月定例会を終了いたします。お疲れさまでした。

閉会宣言 午後5時35分